

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
投資有価証券は移動平均法による原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価方法
貯蔵品は最終仕入原価法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却
什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係わる方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込み方式による。

2 基本財産の増減額およびその残高

基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
土地	0	121,322,198	0	121,322,198
建物	0	55,091,470	0	55,091,470
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
預金	300,000,000	0	176,413,668	123,586,332
小 計	310,000,000	176,413,668	176,413,668	310,000,000
合 計	310,000,000	176,413,668	176,413,668	310,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る 額)
基本財産				
土地	121,322,198	121,322,198	-	-
建物	55,091,470	55,091,470	-	-
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	-	-
預金	123,586,332	123,586,332	-	-
小 計	310,000,000	310,000,000	-	-
合 計	310,000,000	310,000,000	-	-

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
土 地	121,322,198	0	121,322,198
建 物	55,091,470	0	55,091,470
什 器 備 品	213,000	208,740	4,260
合 計	213,000	208,740	176,417,928